

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170400865		
法人名	有限会社 エーアステス		
事業所名	グループホーム Myほ〜む童里夢		
所在地	札幌市西区西野2条1丁目2番1号		
自己評価作成日	平成28年12月1日	評価結果市町村受理日	平成29年2月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=tr ue&JigvosyoCd=0170400865-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401
訪問調査日	平成29年1月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営理念を目標にし常に心のこもったケアを日々行っています。入居者様との毎日の生活を大切に、生活リハビリとしての家事を共に行い、その時々にも自然に笑顔になるような関わりをしています。又筋力低下防止の為、散歩やラジオ体操・創作ダンスを行っておりADLの維持の為出来る事は意欲的に行って頂けるよう日々の会話・声掛けにも配慮しております。レクリエーションではその時々季節を感じさせられるようなもの・懐かしさを感じられるもの等、入居者様の今までの生活を想い出させるような内容で企画し楽しんで頂いています。外出レクリエーションにおいては四季の変化を感じられるよう、初詣、花見、盆踊り、富良野ラベンダー畑、動物園、芋堀り、イルミネーション等に出掛けております。ご家族様にはいつも安心して頂けるよう、体調の変化・外出の際にはお知らせしております。ご家族様との会話により、一層入居者様の生活を知ることが出来、グループホームでの生活がより良いものとなるよう努めています。この事により認知症の進行が少しでも遅らせる事が出来るのがグループホームであると信じており、「自分の親だったら」と考え介護させて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、西区山の手通り沿いのバス停から徒歩5分で、薬局、病院、飲食店が建ち並ぶ便利な商業地区にありながら、目の前が発寒川の遊歩道になっていて、川沿いの樹木が季節を感じさせてくれる恵まれた環境にある。建物は2階建てで、高齢者マンションが併設されている1ユニットの事業所である。同じ建物内に居住する高齢者同士は、ボランティアによる演芸の鑑賞や外出行事などを一緒に楽しみ交流を図っている。当地に移転して4年が経過し町内会との交流も、盆踊りや新年会、総会など利用者、職員が積極的に参加し交流を深めている。運営推進会議や避難訓練にも町内会役員や地域住民の参加を頂き、事業所の取り組みと地域の理解に繋げている。職員は、理念の中の「明るい笑顔と活気あふれる生活」を目指して、出来ることを楽しんで行える、家事手伝いやラジオ体操、歩行訓練など生活リハビリに取り組んでいる。レクリエーションも歌や刺し子、フラワーアレンジメントなど利用者に好まれる内容を取り入れている。外出行事もボランティアの協力を得ながら、季節に応じて、花見や紅葉狩り、動物園、イルミネーション見学など、企画によっては家族も参加し、利用者と家族の満足に繋げている。職員は常に利用者の思いに寄り添いながら、より良いチームケアに取り組み、家族の理解と信頼を得ている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日頃から地域のつながりを密にする為に職員間で話し合いを行い、地域の方々とコミュニケーションを取っております。理念や組織については内部研修を行っております。	開設時に作成された理念を基本に、介護保険改正時に地域密着型サービスの役割を踏まえた介護理念を全職員で作成している。職員は、日々話し合いを持ち、理念が個々のケアプランに活かせる様に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域の行事に参加し交流を深めております。又運営推進会議に参加して頂きグループホームへの理解や協力を得られるよう努めております。	現在地に移転して4年目を迎え、町内会に加入し、利用者は盆踊りなどの行事に参加し楽しみ、職員は新年会や総会に出席して繋がりを深めている。地域住民が見学などで立ち寄ってくれたり、演芸や外出時のサポート役にボランティアを受け入れるなど交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や行事の際に入居者様の状況を説明しつつ認知症の人への理解や支援の方法についてお話をしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回利用者様の状況報告、サービスの状況また、評価への取り組み状況について報告し改善すべき点は話し合いをし取り組み、サービスの向上、改善に努めております。	運営推進会議は2ヵ月毎に開催している。包括支援センター職員、地域住民、民生委員、家族の参加を得て、運営の取り組みや利用者の状況、行事報告、外部評価結果について話し合い、運営に反映させている。	運営推進会議の議事録に、参加メンバーの話し合いや意見交換の内容を明確に記載する事が望まれる。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月に一回、西区の管理者会議に出席し、区や市の職員と連携を図っております。	生活保護課の担当者とは、利用者個別の案件について相談しながら、情報を共有し連携を図っている。認定更新時も介護支援専門員が担当し、情報を共有している。管理者は、区の連絡会に参加し協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないよう全職員が理解しケアを行っております。特に経験のない新人職員に対しては内部・外部研修の参加、又業務中にその都度指導しております。玄関は併設の有料老人ホームと共有、又防犯上の為電子錠となっております。	マニュアルを整備し、外部・内部研修にて職員は、身体拘束の弊害について学ぶ機会を得ている。管理者は常に職員のケアサービスの状況を把握し、身体拘束に繋がる行為の排除を指導している。職員同士でも確認し合い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関は夜間のみ施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ざれることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は内部研修や外部研修で学び運営推進会議で包括支援センターの方や民生委員、地域の方々と話し合いを行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全職員が理解できるよう外部研修の報告、資料も常に見られるようにしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ際には契約内容、重要事項について十分な説明を行い理解、納得して頂いてから契約を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議やご家族様の面会時などに意見や要望を伺っております。その際に答えられるよう職員間で話し合いサービスに反映させていただいております。	家族の来訪が多く、職員は忌憚りの無い話しが出来る様に雰囲気作りに努めている。家族から食事形態の変更など具体的な要望があった場合も、直ちに職員間で情報を共有し、改善に向け取り組んでいる。家族は運営推進会議に参加し、意見や苦情を表せる機会を得て、運営に反映させている。事業所は毎月、広報誌を発行し暮らしぶりを報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1ヵ月に一度のミーティングとカンファレンスを開き運営内容に関する話し合いと利用者様の状態を検討、共有し職員の意見や提案を聞く機会を設けております。日々何かあれば話し合いを都度行っております。	代表者や管理者は、職員を大切に思い、日々接する中でも、一人ひとりの思いの把握に努め、働きやすい環境作りに努めている。毎月のカンファレンスやミーティング時に、職員の意見や提案を汲み取り、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員個々の勤務状態を把握し、コミュニケーションを取り報告、連絡、相談がしやすい職場環境作りに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進め	代表者は外部研修の参加を促し、参加報告を他職員にも伝える事で職員全体のスキルアップに繋げております。又定期的に内部研修を開き介護の知識等を深める場を作っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議への参加、他グループホームとの合同の行事に参加をする事で交流する機会を持ちサービスの質の向上に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は早くグループホームに慣れて頂く為に職員より積極的にコミュニケーションを取り、ご本人様らしい生活が出来るように努め信頼関係を築いております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様、ご家族様と話を充分にし、ご意見やご要望を良く聞いて良好な関係作りに努めます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本様やご家族様の話を良くお聞きしご本人様が生活する上での問題点を考えケアプランを立てて支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を家族だと想い入居者様の気持ちや考えを大切に共に過ごしております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の要望や状況を把握しご家族様に報告、共有する事で共に入居者様を支援して行くように努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人の方がお気軽に面会できるように対応しております。その際には必ず身元を確認させて頂いております。	現在地が交通の便が良いことから、親族の訪問が多くなっている。元職場の知人の訪問や、電話連絡を頂くことがある。家族の協力の下に、お盆や正月の外出やメガネ店や歯科医院、外食など馴染みの場所に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々のレクリエーションを行い、入居者様同士が楽しく関わり合い楽しく過ごせる様に支援しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続して良い関係を築けるように付き合い等を行って頂いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話や行動から思いを汲み取り職員間で情報を共有しております。困難な希望や思いはご家族様にも相談し出来るだけ希望に添えるように支援を行っております。	職員は、利用者一人ひとりに寄り添い、顔色や様子を伺いながら声掛けし、思いの把握に努めている。困難な場合は家族に相談しながら、生活歴をひもとき、日々の申し送り時に職員間で情報を共有し支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前にご本人様、ご家族様より入居前の生活について十分なアセスメント等を行いそれに添えるように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃の生活の中で一人一人にあった日常生活を送れるように職員間で情報を共有しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族様の希望、要望を元に、カンファレンスにてケアを中心として意見やアイデアを出し合いながらケアプランの作成を行っております。	アセスメントシートを基に、毎月のカンファレンスにてモニタリングを行い、担当職員の気付きや意見など情報交換が行われ、全職員で話し合い作成している。利用者、家族の意見を反映し、定期見直しは6ヵ月毎に行い、緊急時は随時見直されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアについて、気づき等を個人ファイルに等に記入し職員間での情報を共有しケアプランの見直しにも活用しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同系列の事業所と連携を取り、ご本人様やご家族様の状況やニーズに応じた支援を行わせて頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年2回の避難訓練には入居者様も参加されております。又町内会のごみ拾いにも参加されております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関から2週に1回の訪問診療を行っております。又、個々のかかりつけ医に定期的に受診し、協力医との連携も取れています。	利用者個々のかかりつけ医への受診は、基本家族対応で行っているが、状況に応じて事業所が支援している。協力医療機関の訪問診療は2週に1度実施され、同系列の訪問看護師は週に1度来訪し、利用者の健康管理に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	心身共に変化が見られた際は直ちに看護師に連絡、相談し適切な処置や受診が受けられるよう日常の健康管理をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを	入院時はご本人の生活状況をお知らせすべく基本情報をお渡しする等、安心して治療を受けられるよう配慮しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期のあり方については、出来るだけ早い段階でご本人やご家族、医師、看護師、管理者で話し合いがなされ職員同士、ケアの方針を共有し対応する体制になっています。	医療連携体制、看取り対応を明示しており、入居時に重度化や終末期における対応指針について説明を行い、同意を得ている。既に看取りを経験しており、状況変化に応じて、家族、医師、看護師、職員と連携し、段階的に方針を確認しながら、家族の希望に沿ったケアの提供に努める体制作りに取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応策のマニュアルを作成し、応急手当については看護師、または消防施設での訓練などで行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防職員と共に施設内で定期的に避難訓練を行っております。又運営推進会議において施設の避難時期、経路について報告しております。	消防署員の指導の下に、年2回夜間想定避難訓練を地域住民の参加を得て実施している。消防用設備点検も定期的に業者に依頼している。飲料水・食料の備蓄品を確保している。	自然災害(地震・風雪害・停電・断水など)における具体的な対策の検討や訓練も実施し、更なる防災強化への取り組みを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様個々を十分に把握し、誇りやプライバシーを損ねる事のないようミーティング等で話し合わせ、ケアの統一が図られております。	職員は申し送り時などで情報を共有しながら、利用者の尊厳やプライドを傷つけない様に、言葉かけにも配慮して対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己表現がなかなか出来ない方には、時間を掛け職員から声掛けし、思いや希望を表せるよう働きかけ、対応しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての1日の基本的な流れはありますが個々のペースや体調等を考慮し、その人らしい生活を送れるように支援する。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問美容を利用したり、モーニングケア時や入浴後に職員が支援し整えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備から後片付けを利用者様の意思を尊重しながら手伝って頂いております。食事の準備をする事で食事が楽しみになるように心がけております。下膳、食器拭き等もして頂いております。	献立は栄養士が作成し、バランスの取れた食事を提供している。行事食などは利用者の嗜好を考慮して、職員は変化を楽しむ食事を工夫している。誕生会やクリスマスのケーキ、おはぎなど、利用者と一緒に手作りしている。食事の準備や片付けなども一緒に行い、会話が弾む食卓を囲んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による栄養のバランスのとれた献立の元、一人一人の状態にあった調理方法、嗜好等で摂って頂いております。1日を通じて必要な栄養素を摂取できるよう、水分量、食事量を記録し支援させて頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアを行っている	毎食後見守り、介助にて口腔ケアを行い残歯と歯茎の健康維持、義歯洗浄、うがいによりしっかり取り組み、訪問歯科と連携を図りながら口腔状態の確認をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを記録し排泄サイン、時間間隔を考慮し、それにそった介助を行っております。又羞恥心に配慮し不快感や失敗を減らすように支援しております。	排泄チェック表にて個々の排泄パターンを把握し、声かけには十分配慮しながら、トイレでの排泄を支援している。現在は夜間帯でのオムツ使用者も無く、衛生用品の使用は時間帯や種類を十分に検討して対応している。トイレは4ヵ所あり、使いやすく整備されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食前の牛乳での腸内刺激や家事、清掃の参加、朝のラジオ体操、施設内外の歩行運動を日常的に行っております。食事は繊維質の多いものを取れいれ水分補給もこまめに行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	その日の気分や体調に応じて無理強いせず気持ちに寄り添った入浴をしております。記録にて入浴間隔が空かないように配慮しております。	入浴は週2回以上を目安に支援している。利用者に無理強いする事無く、一人ひとりの意向を第一に寛いだ気分で入浴出来る様に支援している。便失禁時には、利用者の心情に配慮しながら、シャワー浴で清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣、生活リズムを大切にしながら本人にあった時間で休息して頂いております。夜間もご本人の眠りやすい環境作りをし配慮させて頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の用法、用量を職員全体で把握し見守り・介助にて服用して頂いております。医師、看護師の指示により薬の増減調整をし、個々の症状の変化を確認しながら支援しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各利用者様にはご本人の力を活かした役割を持って頂き、心の糧となるよう支援しております。祝い事・季節ごとのレクリエーション、晴れた日の散歩等により幸福感や気分転換になるように支援しております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には近所に散歩へ行き、気分転換をされております。外出レク、レクリエーションにて普段は行けない様な所に出掛けドライブや外食等イベントに参加され楽しんで頂いております。	季節に合わせて外出を企画している。発寒公園への花見や富良野のラベンダー見学、五天山の紅葉狩りなどに出かけている。手作り弁当持参で家族の協力を得て、動物園も楽しんでいる。天気の良い日は、歩行困難なケースでも、車椅子を利用して散歩に出かけるなど、積極的に戸外に出る支援に取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と相談し職員管理させて頂いておりますが、ご本人様の欲しい物や必要に応じて支援させて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本様の意思を尊重するように支援させて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられるよう毎月その月にあった装飾を楽しんで頂いております。又共有の空間には不快感を感じないよう配慮しております。	事業所は発寒川に沿って建てられており、春には発寒川に沿って植えられた満開の桜を楽しむなど、季節を感じられる環境にある。リビングには食卓テーブルやソファが配置され、利用者がそれぞれに寛げる空間となっている。また、ベランダから遊歩道が見えて、外気浴を楽しむことが出来る。壁には、季節の装飾や手作りのカレンダーなどが飾られ、家庭的な雰囲気を醸し出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者様同士が座って頂けるように座席の配慮に工夫をし、毎日のレクリエーションでは歌を歌ったり聞いたりと思い思いに過ごしていただけるよう工夫させて頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様の写真や昔馴染みの家具などを配置したり、イベントやメッセージカードを飾り、居心地良く過ごせるよう工夫させて頂いております。	利用者は家族と相談しながら、それぞれに使い慣れた家具や仏壇など持ち込み、写真や絵を飾り、個性的で居心地良い居室を作り上げている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内の手すりを使って頂き安全に歩行して頂いております。床には余計な物を置かず、安全に生活して頂けるように工夫させて頂いております。		